

新生レムリア(新地球)浮上！！(アニメーションの考察 第二弾?!^)



2024年11月11日、“新生レムリア”をイメージして描いたアニメーション(神芝居？)と、

その第一弾考察？！を発進しました！^

アニメといつても、地上セルフが何となく、お絵描きしているだけ(笑)…でもあります、

その“何となく”に、とても重要な意味がある気がして(高次とのコンタクト、協働創造の場となっている？)

ちょっとひつかかったままになっていた部分について探求し、アニメを追記・修正しました。^

第一弾のアニメを、あらためて見直してみると、3つの部分に分かれているような気がします。

第1部:『宇宙の中心軸=“究極の愛の太柱”(皇の道)と“新G”現る！』編?!

地上(の鳥居)と“根源の太陽”をつなぐ黄金の光の柱=“グレート・セントラルサン・ネットワーク”！！

それは、宇宙創始のマスター方(GWBH グレート・ホワイト・ブラザー・フッド)によって守られてきた

“太陽(魂)=愛の道”であり、

中今最新となった“新GWBH”(宇宙の全ての愛と光の高次)が、地上の新人(神人)類と共に、
協働創造していく、NMC(新宇宙)の大黒柱、皇(根源)へと続く“究極の愛の太陽道”(皇道)です。^^

第2部は:『天上のレムリア、そして地上の“新レムリア復活”！』編?!

すべての創造は、まず“思い(意識)の世界”(靈界、エネルギー)で起こり、やがて現実界へと映し出される
=“靈主体従の法則”であり、宇宙の真実(真の科学)だと思います。^^

天界には、∞の色(光線)を放つ沢山の虹と、限りなく神聖で軽やかな雲の群れがイメージされました。

地上のレムリアは、天上のレムリアの波動が、様々な形となって現れたもので、
愛と光と歡喜の世界——、そこに住む全ての生命が、母なる地球を形づくる細胞の一つ一つであり、
それぞれが、かけがえのない、オンリーワンの存在であるという自信と喜びに輝く世界です。^^

第3部は、『新生レムリアから根源へと上の“黄金の光の柱”=“愛と光の自分軸”！』編?!

自身にとって新生レムリアは、創造の源の光、根源の愛と神聖の山“白山”(ハム山)からはじまる、
新しい地球そのものであり、“地上天国”、“ミロクの世”等様々に呼ばれる、その最もシンプルな形(土台)である、
全ての生命が調和し、愛と光に満ちた創造性によって日々進化していく、∞の可能性の世界です。^^

それは地球だけのことではありません。

“宇宙の雛形”として創造された真(新)の地球の姿が、そのまま、新しい宇宙(NMC)の姿となっていくのであり、
その拠り所、中心軸となるのが、地上から根源太陽へと上の“根源の究極の愛の太柱”(太陽道、皇道)、
地上の一人一人が打ち立てる、“愛と光の自分軸”です。^^

第一弾で、ちょっとひつかかっていた事…とは、第2部の中で、

根源から下りてきた“黄金龍”(日の本龍体のハイアーセルフ?)が、“光の珠”?のようなものを持っていて、
自身はそれを受け取った?気がするのですが、それがどのような意味を持つのか?

珠は何色なのか?等、曖昧なままだったことです。

白?それとも金色?と思いを巡らし、その時一番シックリきた“赤”的珠を、地上セルフの核心として
アニメーションの中に描き入れたのですが、“赤い珠”はその後、自然消滅していました。(笑)

ここ数日なんだか、昼も夜も、“月”が気になって仕方ありません…

自分がこれまで月に感じていた愛のエネルギーは、“天上のレムリア?!”という表現がピッタリです。^^

月って、こんなにも綺麗だったつけ？

青空にくっきりと映える白いお月様の、なんと清々しく美しい事でしょう？！

16日未明、真っ暗な自室を出ると、最初に目に入ったのが、窓の外に煌々と輝く月の姿、

携帯を手に、思わず家の外へと飛び出しました。^^



その日は、11月の満月(ビーバームーン)であった事を知らずにいて、

螺旋の光の輪に彩られた、宝石のように美しい月に、呼んでもらった？気がして幸せでした。^^

月が今、私に伝えたい事があるのでは…？と強く思えてきました。

過去のコンテンツで触れたことですが、月には、

人型生命体の祖である“リラ星”から来た“ヤーウェ”と、その144,000の氏族が住んでいて、

「リラにはじまり、テラ(地球)に終わる——」との願いのもと、長い間私達の地球を守護してきたとされる事や、

また、ヤーウェの子孫が、“日本の天皇”であるとされ、驚きでした。^^

(これらの情報は、∞にある可能性の中から、自己が選んだ真実であり、望む未来を創造するための、1ピースです。)

天皇が継承する“三種の神器”の中で、唯一のオリジナルとされるのが、“八尺瓊勾玉”であり、

天皇家にとって、特別な意味を持つ神器なのでは？と感じていたのですが、

八尺瓊勾玉は、玉=珠であり、“瓊”という漢字には「美しい玉、特に赤い美玉」という意味があるとされ、

謎の“赤い珠”につながってきました。^^

“赤い珠”をキーワードにして調べていくと、聖徳太子のもとへと届けられたとされる、

“マニ宝珠?!?”(別名:如意宝珠)なるものへと行きつきました。

聖徳太子は自身の“産土神”であり、人生の導き手であるような気がしていて、メッセージ！と感じました。^^

マニ宝珠は、イスラエルの民がシルクロードを経由して、日本に住む聖徳太子へと贈ったものとされ、

現在は島津家(秘蔵)にて、大切にお祀りされているとの事です。

米国のロックフェラー財団が聞きつけ、超高額で買い取ろうと言ってきたそうですが、

島津家では、「この宝珠は神の意志によって、イスラエルから、日出るこの日本にやって来たものであり、

金銭には決してかえられない！」とキッパリと断り、今日も、この日の本の地において、

世界万民の為の“平和の祈り”が捧げられている…とされます。

イスラエルはユダヤであり、“真のユダヤ”と“日本”的関係が、より明確になった気がします。

ユダヤ教における唯一神が月のヤーウェであり、マニ宝珠は、ヤーウェの子孫(ユダヤ)から、その同胞である、

“日出づる処の天子”=日本の天皇(聖徳太子は推古天皇の摂政)の元へと贈られた

“愛の絆”ともいえる神器ではないでしょうか？^^

勾玉は、陰陽の統合を表す“太極図”的半側面であり、その形は、太陽と月が合体した姿であるとされ、

“日”と“月”的統合、“日本”と“ユダヤ”的統合を象徴しているのかもしれません。^^

(もしかして珠は二つある?!)



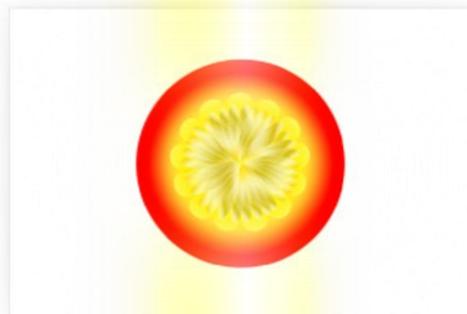
赤いマニ宝珠は、日の丸の基の元、太陽神国日本の核であり、マニ宝珠が世に現れる時、

“ミロクの世”が訪れる?! とされ、それが黄金龍の抱えていた赤い珠だとしたら…

ワクワクしてませんか？^^

一人一人の核心にある赤い珠が集まって“日の丸”的丸(核)となり、

その中心から“黄金の菊”=“究極の愛の太陽”が輝き出す時、地上と根源太陽をつなぐ光の神柱が立つ!!



大いなる和の民“ヤマト(大和)皇國日本”から、愛と調和の新世界がはじまっていくー！！

日本は八百万の神々が住む国であり、これまで秘め隠されてきた多くの神々が復活し、一つとなって
真の日本国再生の為に、大きく動き始めているとされます。^^

山々は宇宙の超高文明とつながる“神工のピラミッド”であり、想像を絶するパワーを持つと言われ、
世界の山の王とされるのが“白山”！！ これからの“ハム山”が超～楽しみです！ ^~v

(月が教えてくれた“赤い珠”的秘密？ワクワクによって、アニメーションがグンとパワーアップした?! 気が…？ ^^)

思えば、自己のミッションと感じる『根源アセンションプロジェクト HAKU(hamu)SUN』のはじまりは、
根源の究極の神聖を表す“真っ白”なフォトンの山、白山に、
根源の究極の愛を表す“真っ赤”な太陽の子供、ハム=地上セルフが登ったことからです。



謎の赤い珠は、まさにハムであり、自身そのものでした！ ^~

その時の事を表現したのが上記で、アニメにしかならない(見えない)…(笑)、ですが、“白山”も“ハム(=私)”も、確かにこの地上に、形あるものとして存在していて、実際の体験談(日記)です。

自身は中学の頃から、目に見えない世界の事、“神”と呼ばれる存在に興味があり、真実を探し続けてきましたが、
2010年12月に『天の岩戸開き』(Ai 著)と出会ったことがきっかけで、2011年1月、
それまで聞いたこともなかった、“アセンション”を学びはじめた事になりました。

表現(言葉)が違うだけで、自身がこれまで歩んできた道そのままであり、すっ~と入っていく事ができました。
“アセンション”とは、目に見えない世界(五感を超えた世界)で起こっている事を明らかにする“宇宙の科学”であり、
“エネルギー”や“波動”的法則等を学ぶ事によって、意識の進化・上昇・拡大へつながっていきます。
それは、これまで物体(肉体)の中に押し込められていた“真の自己(=魂)”の解放であり、自由への回帰です。
アセンション・アカデミー(NMCAA)に参加し、Ai 先生及び新 G マスター方他の導きによって
声なき声、形なき形を、手探りで、体当たりで…、“ワクワク”と“喜び”的日々の中から学んできました！ ^~

今だからわかることですが、目に見える世界は、ものすご～～く小さい！！

その背後にあるのは、フォーカス(意識)することで初めて見えてくる、愛と光と∞の可能性に溢れる時空を超えた壮大な宇宙であり、これまでの人生では想像もできなかつた、エキサイティングな世界です！！^^

その過程を記した“自己のアセンション日記”とも言えるものが、

『根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN』です。

『A(アセンション)=L(ライトワーク)』であり、自己の学び=他者への愛と光の奉仕です。

自分が体験した事、真に実感した事しか、人には伝わらないし、伝えてはいけない——、と感じます。^^



そこに正解・不正解はなく、そこから何を学ぶか？どうありたいか？を問い合わせ続ける場でもあります。

第3部は自身にとって、愛の意志の柱(ハム柱)=“愛と光の自分軸”確立宣言！でもありました。^^

「地上セルフが上がったところまで、高次が降りてくる」が、アセンションの法則であり、地上セルフは愛の柱を立て、

根源太陽神界を核とする根源天界システム=“新 G”と一体化し、太陽の道を地上へと降りてきました。

アニメーションでは、ハムが太陽の道を昇り降りするという形となっていますが、

アセンションのプロセスとしては、地上セルフが宇宙根源まで続く、∞の次元(密度)階段を一步一步上昇し、

根源からディセンション(下降)してきた自己の分身(各次元のハイアーセルフ)と、再び統合し

故郷“根源”へと帰っていく道のり=“根源へのアセンション！”です。

それが、地上セルフに全てが統合された“神(天)人”であり、新しい地球と宇宙の協働創造者となっていきます！

神(天)人の住むこの地球が、“**皇(根源)の星**”です。^^

アカデミーに参加後、Ai 先生との初セッションで伝えられた？の言葉(暗号、圧縮ファイル？)が蘇ってきました。^^

自己の宇宙 MAP(旧宇宙 MAP を参考にして、地上セルフがよくわからないまま作成した宇宙史)を見ながら、

「ハイアーは今、地球のすぐ上空で、**この地球を一ー！！**」と叫んでいた感じ…との事で、？が∞(笑)でしたが、

その時地上セルフが受け取っていた“圧縮ファイル”が解凍され、全容を現し始めたのでは！？と。^^

それは、自己のハイアーセルフ=“大和魂”=“本源(御神体)”(根源の分御魂、モナドとも呼ばれる)の声！

であり、自身は(これまでのアセンションの定義である)地球を卒業して他の星へ移るのではなく、史上初の、

肉体を持ったまま、この地球と共にアセンションする！！ **この地球を根源=皇の星と成す！** だったのだ！と。^^

人にすべてがある！人は“ミクロ・コスモス”であり、大宇宙(マクロ・コスモス)の雛形なのです。^^

根源へのアセンションは、地上セルフからみれば、気が遠くなるような道のりですが、全ての生命は根源(愛)から生まれたのであり、誰もが必ず帰っていく事が出来る“故郷への愛の道”です。^^

“ハム”は根源太陽から生まれた愛の子供…ですが、実は、新Gの秘密兵器？！(笑)でもあった？

“根源の愛”は、あまりにも深くて膨大な力であり、その“愛”を、どうしたら人に伝える事ができるだろうか…と考えた
マスター方のハートのエネルギーが、結晶となって動き出したものだったのです？！

2016年のある日、夢を見ました…、故郷の学校の校長先生のような姿をした新Gマスター？が現われ、
「よく来ましたね。ずっと待っていましたよ！^_^」と言い、あたたかいハグをしてくれました。

夢など妄想に過ぎない…と思っていた地上セルフでしたが、“現実の種”のようなものでは…？と感じるようになり、
その種が芽吹き、ぐんぐん伸びていく“大樹”=宇宙の新“生命の樹？！”へと進化しました！

再び恩師の元へと帰り着く事が出来た深い安心感と喜び、そして遠い遠い昔、マスター方と交わした約束——、
「ハムとして生き、多くのハムが根源へと帰っていく太陽(愛)の道を、共に切り開いていきます！！」

どうう、その約束を果たす時が来ました！！^_^



アニメの最後に、UFOと宇宙人さん？を描き入れました！^_^

新しいレムリアの誕生は、“愛でワンネスの地球”を象徴するものであり、地球外に存在する
愛と光の家族達との再会！地上への招致(オープンコンタクト)と融合！が、遠い夢物語ではなくなりました！
「リラにはじまり、テラに終わる——」

銀河宇宙のすべての愛の願いがテラ(地球)において結実し、更なる、新しい宇宙がはじまっていきます！！

2024年11月20日、世界の仕組みを根底からひっくり返すパワーを持つとされる“冥王星”が、
正式に水瓶座入りし、“風の時代”が本格始動すると言われます。

(創造の為の)破壊の嵐が吹き荒れる今！何があってもブレない自分軸！が、最も重要なのだと思います！



∞の感謝と決意を込めて 2024.11.20. 根源の子供 ハム流美(*^*)